

# 令和7年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門
	※プルダウンから選んでください

## 【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	中田さん
事前相談日	2025年4月17日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	
事前相談日	

※複数回相談した場合、全てご記入ください

## 【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。(プルダウンになっています)

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	○
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	○
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。(申請者・団体概要をそれぞれ記入要)	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。(昨年度採択されている事業で、新しい工夫・発展性が見受けられる場合は除く)	



設立年月日（西暦）	2024年6月7日（設立年目）
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料（団体パンフレット、HP等）を併せて提出してください。
（1）設立の目的	Go West Projectは、金沢市の犀川西側、特に寺町寺院群や西茶屋街の魅力を地元住民を含む多くの方に発信しようという想いから始まりました。あるギャラリーの終業後、有志が集まった小さなキックオフミーティングで、地域住民や観光業に携わる方々が語り合い、まずは身近なつながりから動き出そうと合意。「日常の中でお互いを紹介し合う」など、気負わず楽しく地域に関わるスタイルを大切にしながら、ゆるやかに活動をスタートさせました。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	
（2）今後の目指していきたいこと	Go West Projectは、重伝建地区である寺町・西茶屋街周辺に再び人のにぎわいと活気を取り戻すことを目指しています。地域に根ざした飲食店や工芸店、寺院、観光業の担い手たちと連携し、「誰でも気軽に立ち寄れる」地域イベントや企画を継続的に実施していきます。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	<p>今後は、地域を横断する「スタンプラリー」や「寺社めぐり企画」、子どもや観光客も楽しめる「文化体験」「職人の手仕事紹介」、そして宗派を超えた寺院との連携による「仏教文化発信」など、多彩な取り組みを検討しています。</p> <p>また、地域の魅力を発信するSNSやメディア活用にも力を入れ、外から訪れる人と地域住民との橋渡しとなる役割も担っていきます。2025年春の「花まつり」開催はその第一歩であり、今後の継続的な活動につなげてまいります。楽しさと温かさが交差する、持続可能なまちづくりを目指して歩みを進めてまいります。</p>
活動概要	以下に記入してください。
（1）主な活動履歴	Go West Projectでは、これまでに9回にわたる定例ミーティングを開催し、多職種の専門家が集まり、地域の未来について活発な議論を重ねてきました。例えば、西茶屋街のPRとして拡張現実（XR）の導入を模索したり、寺町の寺院を活用して書道・剣道体験などを企画し、集客による賑わい創出を試みています。また、犀川に浅野川・梅の橋のような木造橋を架けられないか、川沿いの景観開発についても議論が進行中です。
（2）得意分野・活躍できること	Go West Projectの強みは、多様な専門家が集う超異分野型のコミュニティにあります。建築・観光・宗教・IT・まちづくり・アートなどの知見が交わる場であり、現実的なアイデアと未来志向のビジョンを併せ持つことができます。XRやSNSを活用した情報発信、寺院との連携による文化体験の企画、景観整備への構想提案など、地域資源を活かした新しい価値創造を得意としています。自由で柔軟な発想を持ち寄り、実現可能性のある企画へと昇華する力がここにはあります。
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	悠久の時を刻んだ歴史文化が町おこしにおいて十分に可能性を秘めていることを証明します。
HP,SNSのURL	<a href="https://www.instagram.com/gwp0331/">https://www.instagram.com/gwp0331/</a>

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者・団体概要」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者・団体概要」部分のみです。

## 【4】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ <a href="#">未来共創計画 基本方針一覧</a>
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針1_魅力づくり	(1) 誰もが文化芸術に親しむことができる環境の充実
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
基本方針1_魅力づくり	(2) 歴史と伝統に培われた文化の継承・発展
基本方針1_魅力づくり	(4) 世界の人々が憧れ滞在したくなる都市ブランド力の向上
協働を希望する課名	歴史都市推進課、文化財保護課、産業政策課、観光政策課
企画のタイトル	(GWP Presents) 寺町ルネサンス ～いま、まちの力が目を覚ます～
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題  (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	<p>金沢市の西側、寺町台は、加賀藩の時代から多くの寺院が集まる歴史的・文化的価値の高い地域です。かつては地域の人々が行き交い、寺院が“まちの相談所”として機能し、まさに「人の声が集う場所」でした。しかし今、そこには静寂が広がっています。</p> <p>現在、蛤坂に住む子どもはわずか2～3人。通学路や町なかに子どもの声が響くことはほとんどなくなりました。日中通りを歩くのは外国人観光客が中心で、地域の日常の息遣いは感じにくくなっています。観光地でありながら、飲食店の数も極めて少なく、地域内での消費や人の流れが十分に循環していない状況です。</p> <p>また、数多くの文化財的価値をもつ寺院は、住職の高齢化により、広報力や企画力、発信力が落ち込み、伝統を守りながらも時代に合わせて魅力を伝える力が不足しています。地域の魅力を“知ってもらおう”という最初の一步が、うまく踏み出せていないのが現状です。たとえば、芸術性の高いフレスコ画が設置された寺院などもあるにもかかわらず、情報発信が乏しく、多くの人に知られていないままになっています。</p> <p>このままでは、金沢が誇るべき歴史的資産が「記憶のなかのまち」になりかねません。だからこそ今、地域に住む人、訪れる人、関わる人が一体となって、再び人の声と文化が響きあう「にぎわい」を取り戻す必要があります。</p> <p>一方、政教分離の観点から容易に行政からのサポートをするわけにも行かない状況化。今できるのは、静観し衰退を待つのか、この文化を誰かが護るのか。課題は明解、誰かが進めないとなりません。寺町ルネサンスは、その再生の合図です。静かに、しかし確実に。まちの目覚めが、ここから始まろうとしています。</p>
②ねらい・コンセプト  (①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)	<p>寺町ルネサンスの原動力は、この地がかつて加賀一向一揆を経て、自治の精神を育んだ歴史にあります。強い指導者がいなくとも、民が力を合わせ、地域を支えてきたこの北陸の地。なぜ地方自治が成立したのか——それは、皆が本気で地域の未来を考え、互いの幸せを願い合っていたからではないでしょうか。</p> <p>いま、寺町で進めている多職種連携の活動は、まさにその精神の再現です。飲食店主や学生、寺院、工芸職人、人力車など多彩な人々が知恵を出し合い、寺を舞台に祭りやイベントを展開する。市民が“見物人”でなく“参加者”になる町おこし。それは、加賀の伝統が現代に息を吹き返す瞬間でもあります。金沢だからこそ始められる、希望ある地方創生をここから実現していきます。</p> <p>我々にできるアクションはイベント企画だけかもしれません。金沢観光案内所で発信頂くだけでも違います。政教分離はあるのは承知していますが、日本の仏教は海外の仏教とも異なり、独自の発展を見せているため十分な観光資源です。活用頂けることを願っております。</p>

<p>③実施内容案</p> <p>年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓</p> <p><a href="#">事業スケジュールひな形</a></p>	<p>実施予定時期： 対象者（ターゲット）：金沢市の住民、観光客、インバウンド観光客 予定場所：寺町各所 実施内容：イベント開催で寺町に人を呼び込む。町おこしを実施する。 広報・周知の方法：SNS活用、SNS広告、チラシ配布 年間事業スケジュール案： 他、特記事項：</p> <table border="1" data-bbox="422 470 1461 772"> <thead> <tr> <th>事業内容・準備</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真澄寺さん護摩焚</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>お寺でコンサート</td> <td></td> <td>企画</td> <td>広報</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>加賀友禅の絵付け体験</td> <td></td> <td></td> <td>企画</td> <td>広報</td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>書道体験 報告</td> <td colspan="10">年中行事として受け入れ体験可能。海外インスタグラマーによる発信も含め対応</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	真澄寺さん護摩焚	○										お寺でコンサート		企画	広報	実施							加賀友禅の絵付け体験			企画	広報	実施						書道体験 報告	年中行事として受け入れ体験可能。海外インスタグラマーによる発信も含め対応									
事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																														
真澄寺さん護摩焚	○																																																							
お寺でコンサート		企画	広報	実施																																																				
加賀友禅の絵付け体験			企画	広報	実施																																																			
書道体験 報告	年中行事として受け入れ体験可能。海外インスタグラマーによる発信も含め対応																																																							
<p><b>事業効果</b></p>	<p>※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。</p>																																																							
<p>期待できる事業効果</p> <p>(広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)</p>	<p>人は自然と、賑わいのある楽しい場所に集まります。</p> <p>寺町ルネサンスは、歴史と文化が息づく場所に、人の笑顔と交流を呼び戻す取り組みです。</p> <p>地域住民が主体となって関わり、世代や立場を越えて関係が生まれるこの活動は、市民にとっても共感しやすく、関わりたくなる仕組みが随所にあります。</p> <p>また、寺院、飲食・観光・工芸関連の多職種に加え、学生や市議会議員、企業関係者、行政職員など幅広い関係者が協働することで、イベントを通じた強い絆が育まれていきます。</p> <p>さらに、金沢市が導入している観光快適度マップと連動し、これまで“賑やか”のエリアとして可視化されなかった寺町が、プロジェクト期間中に“賑やか”に変化する様子をデータで示すことで、協働の成果を明確に評価・共有することが可能です。この事業は、市民と行政と地域が手を取り合い、未来の金沢を形作る力となります。</p>																																																							
<p><b>その他 特記事項</b></p> <p>(今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか 等)</p>	<p>私たちがこの「寺町ルネサンス」に挑むのは、ただのイベントを成功させたいからではありません。かつて人が集い、助け合い、支え合ったこの寺町に、もう一度“まちの力”を取り戻したい。それが私たちの原動力です。加賀一向一揆の後、自治を築き上げた北陸の民のように、今を生きる私たちが本気で地域に向き合えば、きっと未来は変えられる。</p> <p>この事業を通して、人と人との信頼や連携、そして地域の誇りを育てたいと願っています。関わる全ての人が、「自分のまちにできることがある」と思えるような成功体験を、金沢の寺町から生み出したい。これは地域の再生であり、私たち自身の再生でもあると信じています。</p> <p>今、日本がやろうとしている地方創生はこの寺町から。 ぜひ、ご支援下さい！</p>																																																							